

# 第42回 新井商工会議所 会員景況調査 結果

(令和5年10月～12月実績 令和6年1月～3月見通し)

新井商工会議所・中小企業相談所

□調査時点 令和5年12月31日

□調査方法 郵送による調査表送付、郵送とWEBによる回答(記名式)

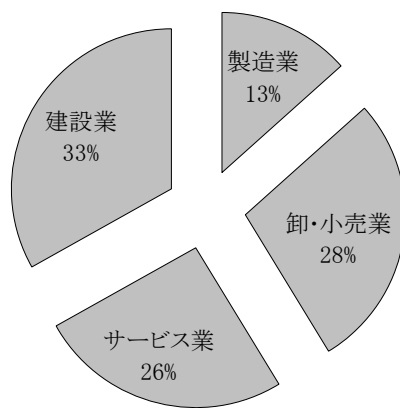
□調査対象 新井商工会議所会員企業602社(調査対象外43事業所は除く)

□回答数 172(回答率28.6%)

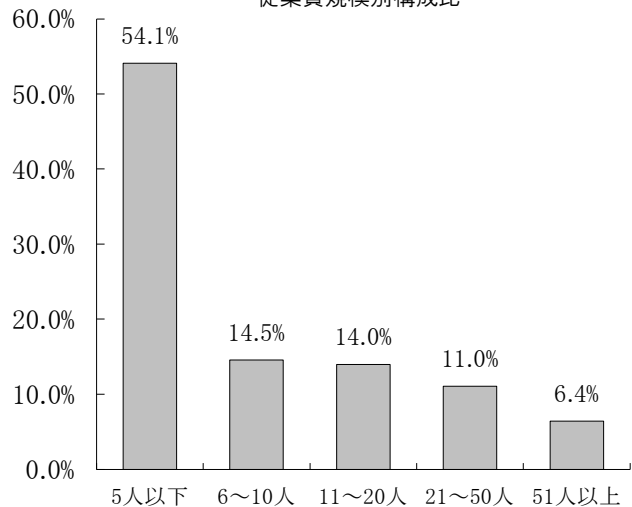
◆業種別内訳:製造業23 卸・小売業48 サービス業44 建設業57

◆従業員規模別内訳:5人以下93 6～10人25 11～20人24 21人～50人19 51人以上11

回答企業業種別構成比



従業員規模別構成比



※1 当調査における業種別の小分類は下記の通りです。

(中小企業基本法の業種分類になります。日本標準産業分類とは異なります。)

1. 製造業 食料品・繊維製品・印刷出版・鉄鋼業・木材・金属製品・機械機器・電気機器・その他
2. 卸・小売業 衣服身の回り品・食料品・**飲食店**・家具建具什器・衣料品化粧品・燃料・家電家庭用機械・スポーツ用品、玩具・カメラ時計眼鏡・その他
3. サービス業 旅館・洗濯理容美容・自動車整備・娯楽旅行レジャー・医療教育・物品賃貸・その他
4. 建設業

※2 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計してもかならずしも100とはならない場合があります。

# 業況

全産業の業況DI 前回に比べ 9.7ポイント改善も、見通しは29.9ポイント大幅に悪化

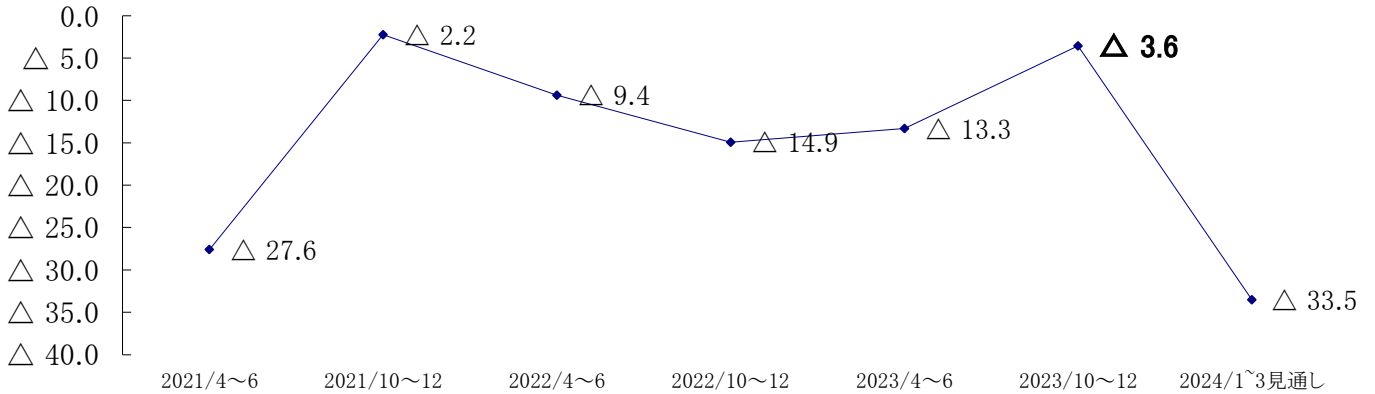
## □2023年10～12月期 全業種の業況実績

今期の業況DI値(「好転」と回答した企業-「悪化」と回答した企業)は△3.6で、前回調査(2023年4月～6月)の△13.3に比べ9.6ポイント改善しました。

## □2024年1～3月期 全業種の業況見通し

全産業の業況DI値は、今期実績の△3.6から△33.5へと29.9ポイント悪化する見通しとなりました。

全産業 業況DI「好転-悪化」の推移



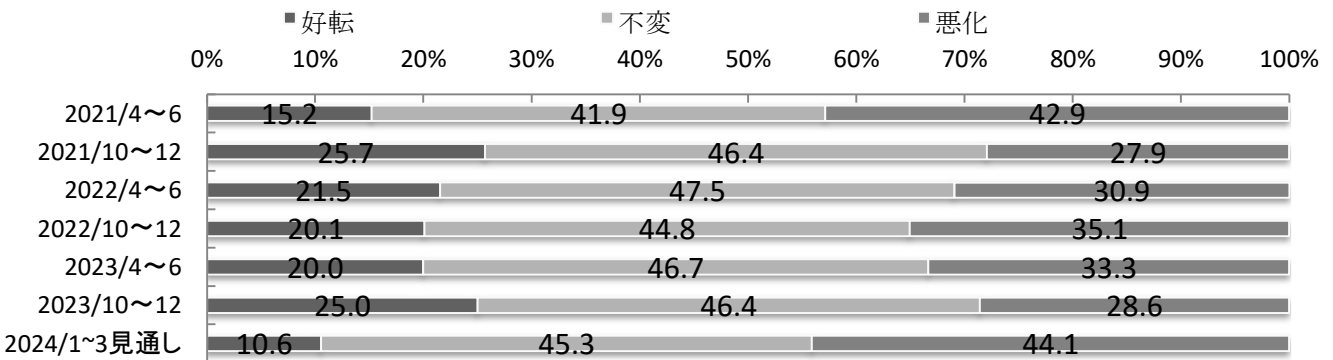
## □2023年10～12月期 業種別業況実績

前回調査(2023年4月～6月)実績に比べ、卸・小売業、サービス業、建設業で改善しています。

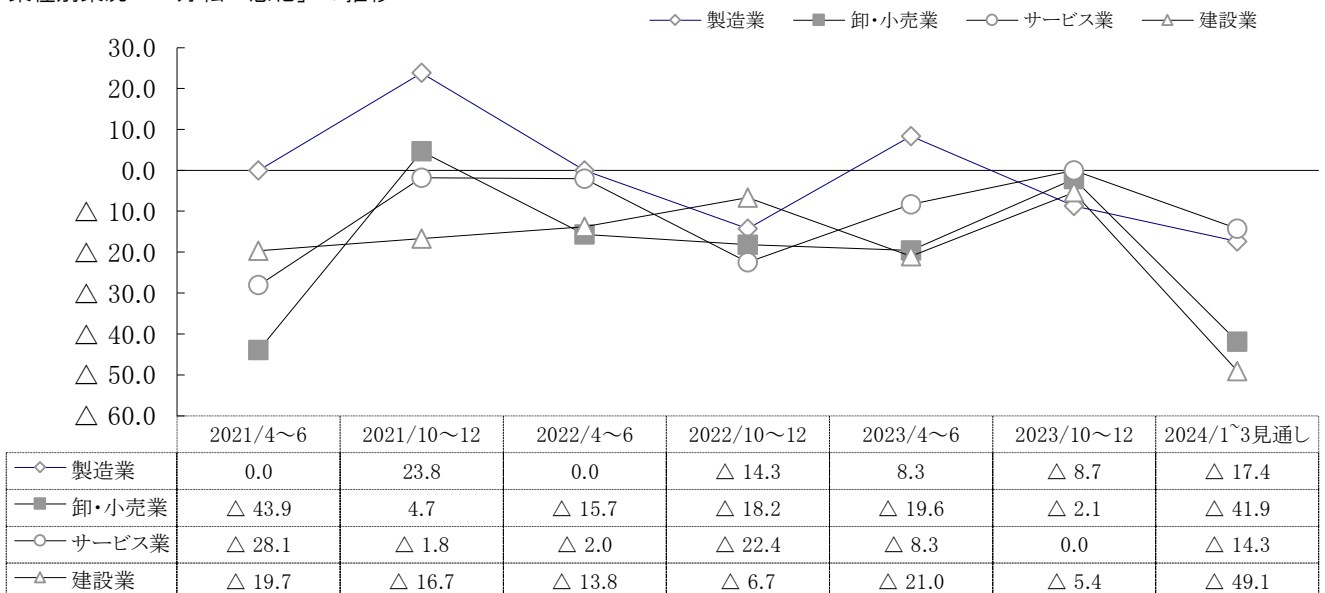
## □2024年1～3月期 業種別業況見通し

2023年10～12月期実績DI値に比べ、2024年1～3月期見通しDI値は全業種で大幅に悪化しています。

全産業 業況の推移



業種別業況DI「好転-悪化」の推移



# 売上の動向

売上DI 前回より3.1ポイント改善するも、見通しは大幅に悪化

## □2023年10～12月期 全業種の売上

今期の売上DI値(「増加」と回答した企業-「減少」と回答した企業)は△3.0ポイントで、前回調査(2023年4月～6月)の△6.1ポイントに比べ3.1ポイント改善しました。

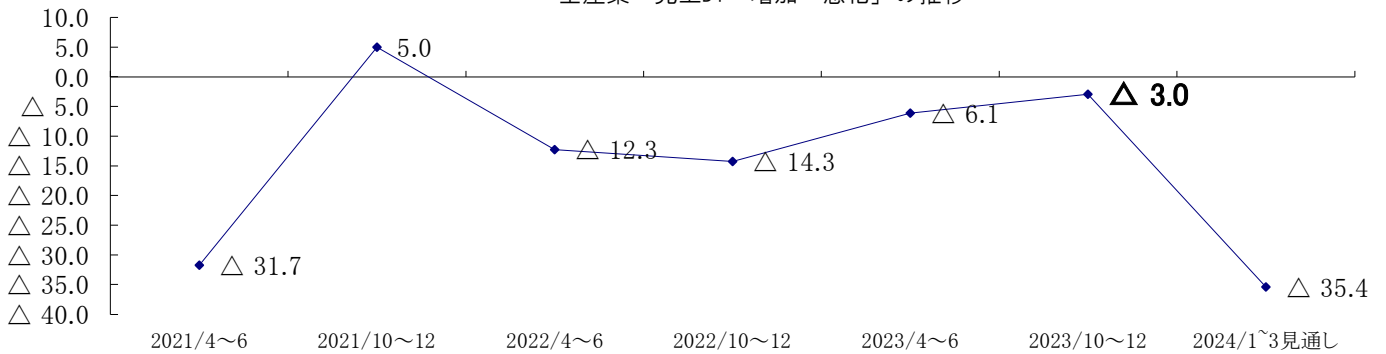
## □2023年10～12月期 業種別の売上

DI値の動きを、今期実績と前回調査(2023年4月～6月)実績で比較すると、製造業、サービス業、建設業で改善しています。

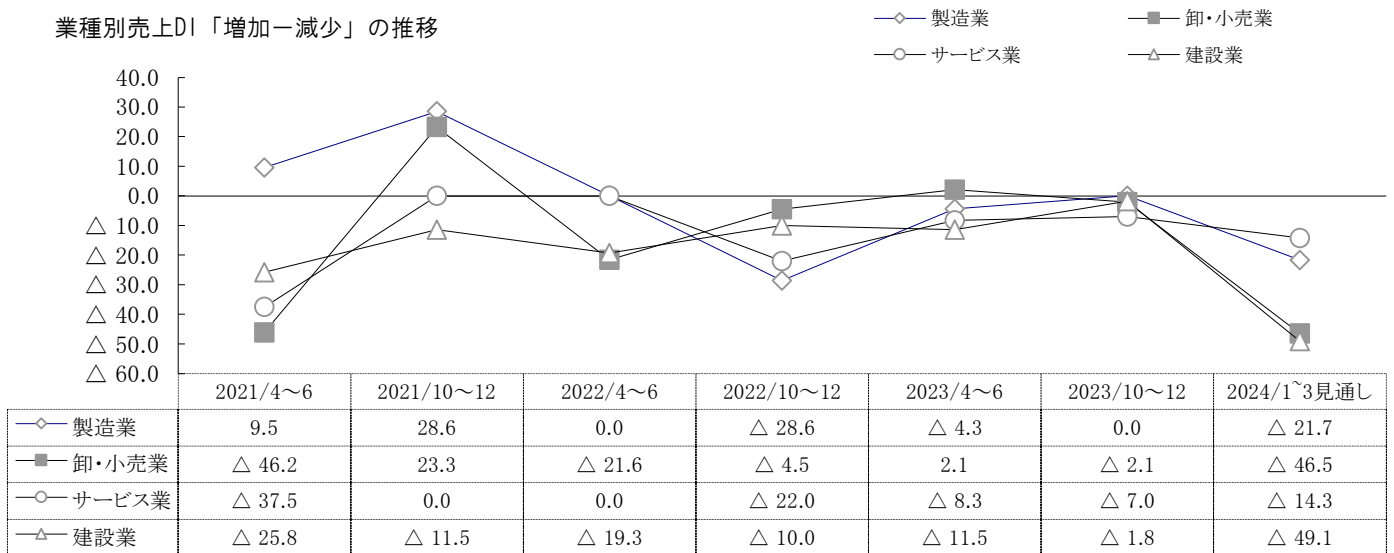
## □2024年1～3月期の見通し

全産業の売上DI値は、今期実績の△3.0から△35.4へと32.4ポイント大幅に悪化する見通しとなりました。

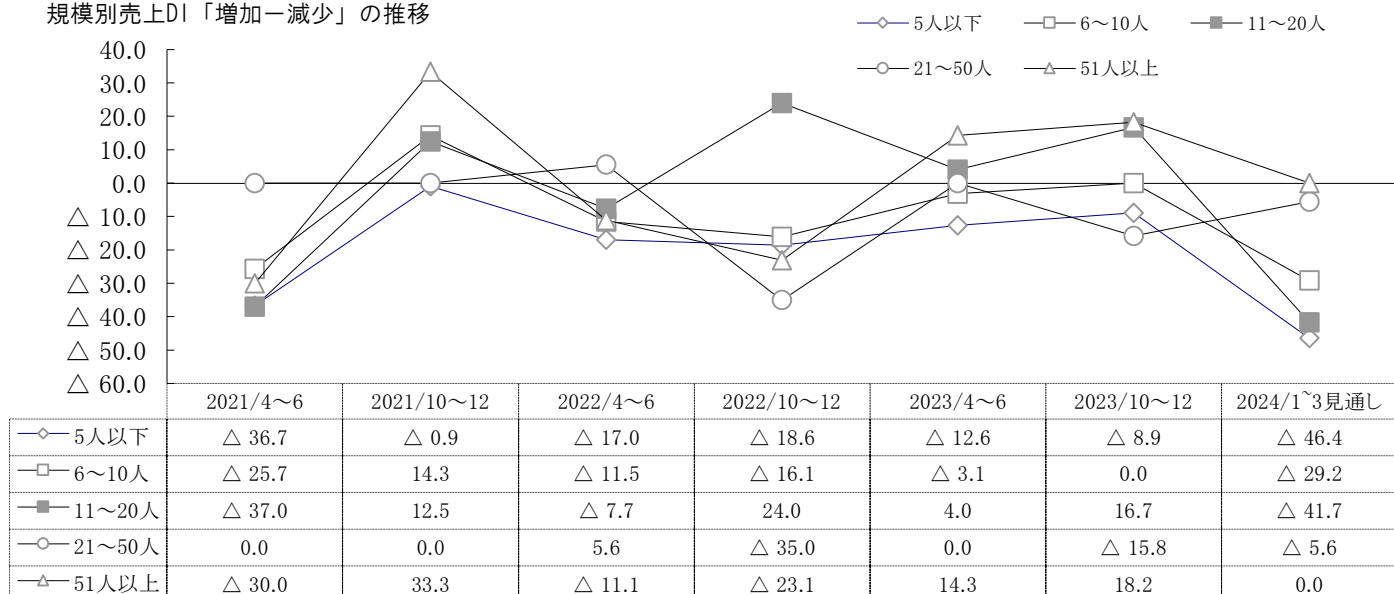
全産業 売上DI「増加-悪化」の推移



業種別売上DI「増加-減少」の推移



規模別売上DI「増加-減少」の推移



## 販売数量の動向 販売数量DI 前回より5.3ポイント改善も、見通しは大幅に悪化

### □2023年10～12月期 全業種の販売数量

今期の販売数量DI値(「増加」と回答した企業-「減少」と回答した企業)は△8.1で、前回調査(2023年4月～6月)の△13.4ポイントに比べ5.3ポイント改善しました。

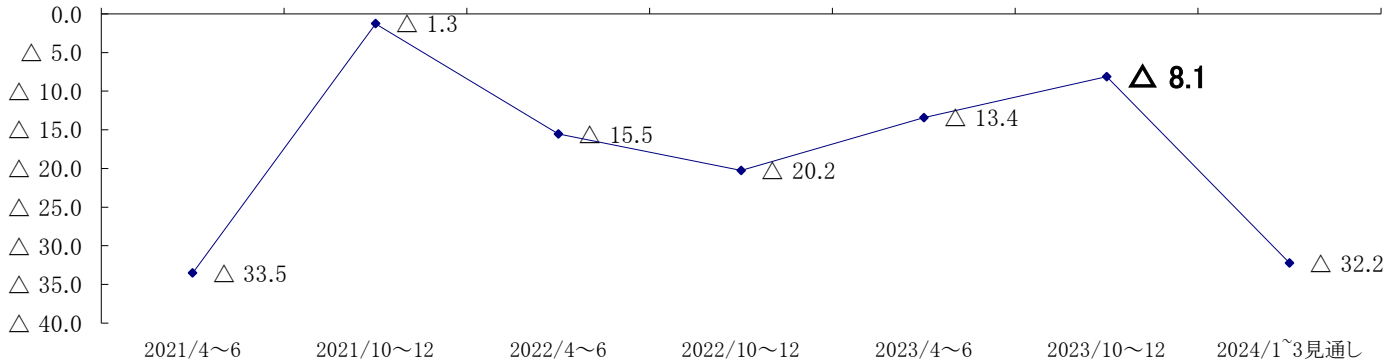
### □2023年10～12月期 業種別の販売数量

DI値の動きを、今期と前回調査(2023年4月～6月)と比較すると、卸・小売業、建設業で改善しています。

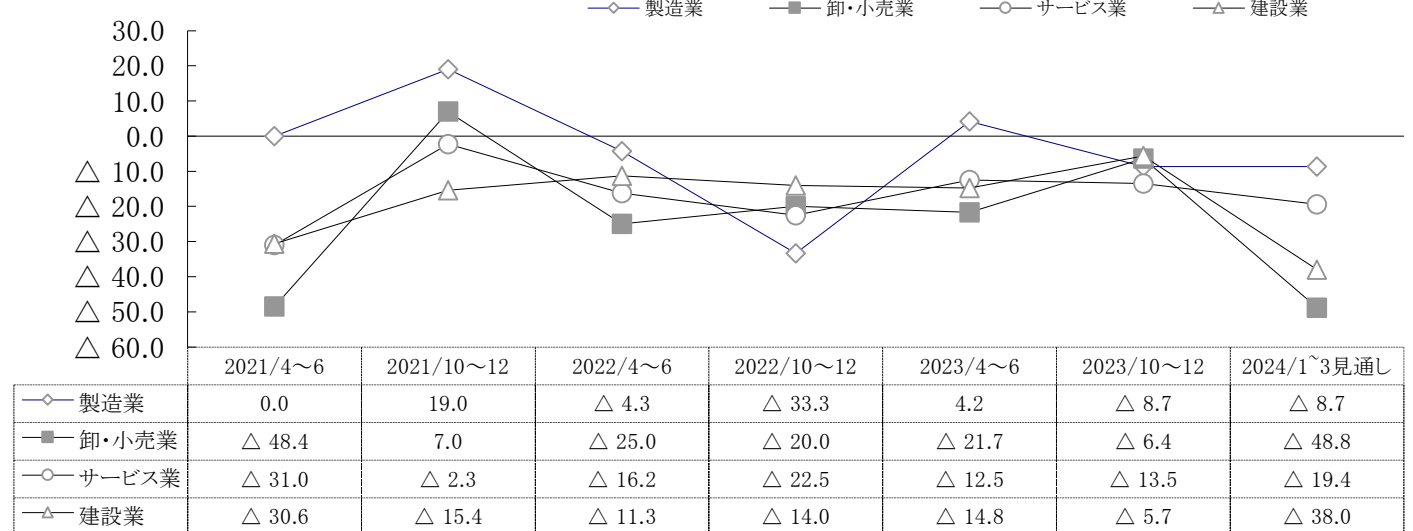
### □2024年1～3月期の見通し

全産業の販売数量DI値は、今期実績の△8.1から△32.2へと24.1ポイント大幅に悪化する見通しとなりました。

全産業 販売数量DI「増加-悪化」の推移



業種別販売数量DI「増加-減少」の推移

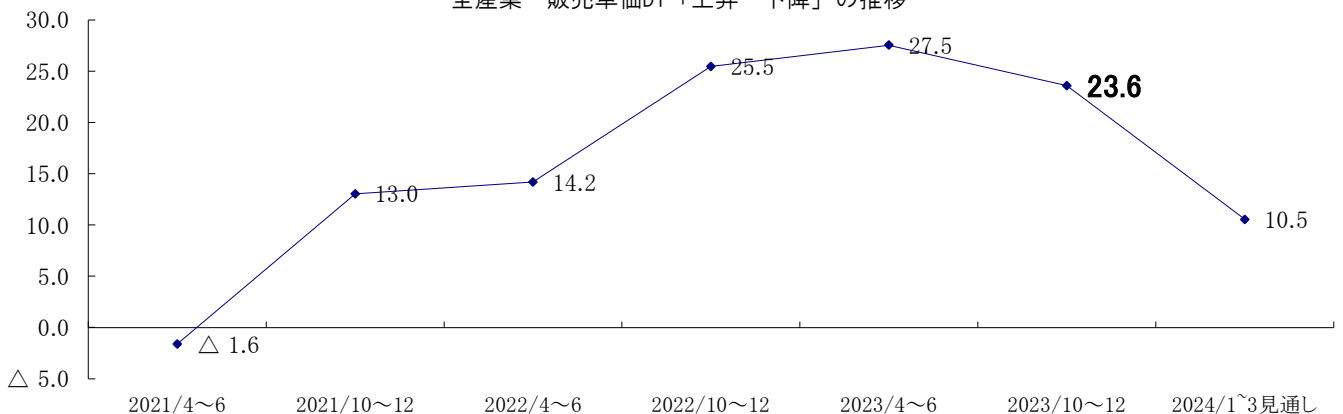


## 販売単価の動向 販売単価DI 現況は下降気味で、見通しは下降傾向が加速

### □2023年10～12月期 全業種の販売単価

今期の販売単価DI値(「上昇」と回答した企業-「下降」と回答した企業)は23.6で、前回調査(2023年4月～6月)の27.5から3.9ポイント下降しています。

全産業 販売単価DI「上昇-下降」の推移



## 仕入高の動向

仕入高DI 前回より2.9ポイント増加するも、見通しは大幅に減少

### □2023年10～12月期 全業種の仕入高

今期の仕入高DI値(「増加」と回答した企業-「減少」と回答した企業)は33.8で、前回調査(2023年4月～6月)の31.5に比べ2.9ポイント増加しました。

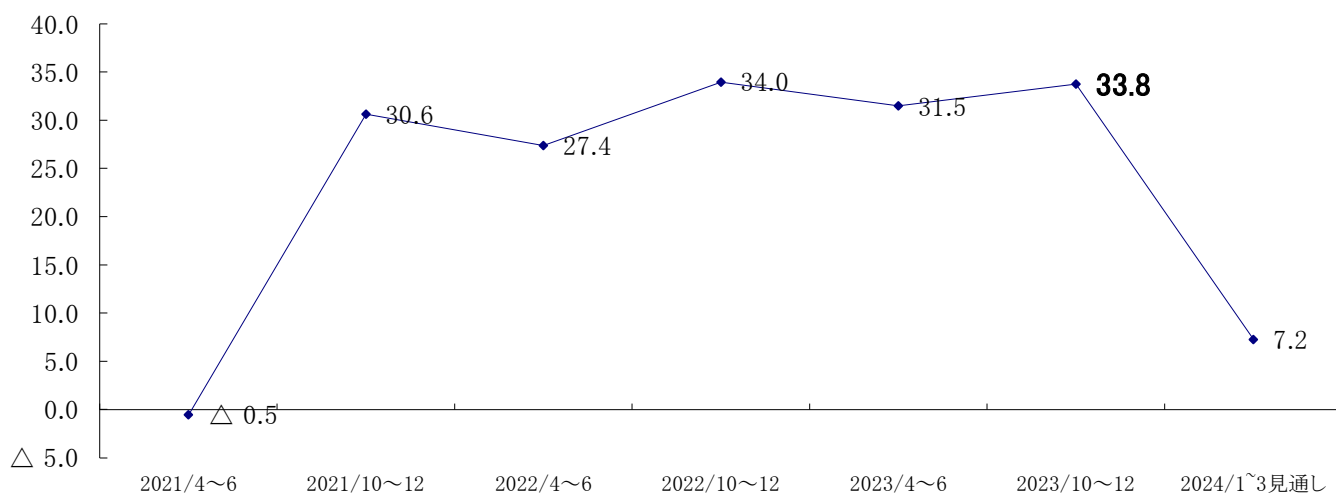
### □2023年10～12月期 業種別の仕入高

DI値の動きを、今期と前回調査(2023年4月～6月)で比較すると、製造業、卸・小売業で増加しています。

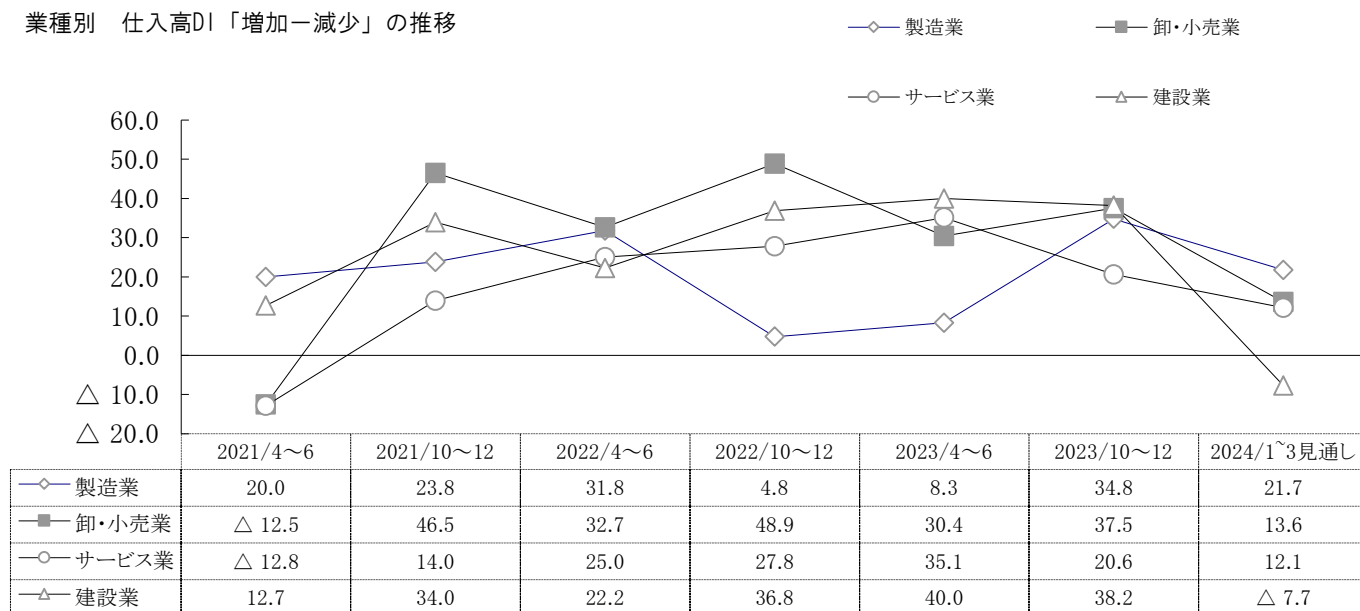
### □2024年1～3月期の見通し

全産業の仕入高DI値は、今期実績の33.8から7.2へ26.6ポイント大幅に減少する見通しとなりました。

全産業 仕入高DI「増加-減少」の推移



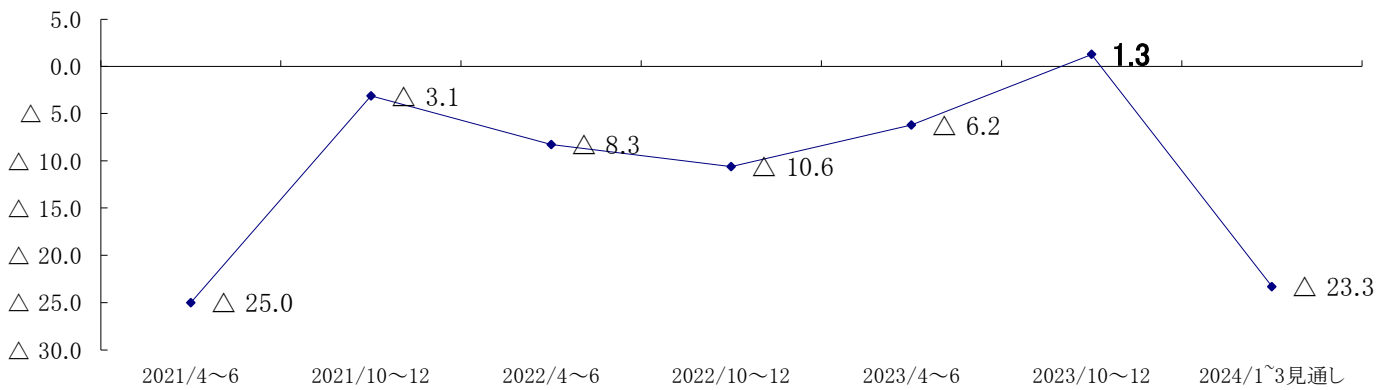
業種別 仕入高DI「増加-減少」の推移



## 仕入数量の動向

仕入数量DI 7.5ポイント増加するも、見通しは大幅に減少

全産業 仕入数量DI「増加－減少」の推移



### □2023年10～12月期 全業種の仕入数量

今期の仕入数量DI値（「増加」と回答した企業－「減少」と回答した企業）は1.3で、前回調査（2023年4月～6月）の△6.2ポイントに比べ7.5ポイント増加しました。

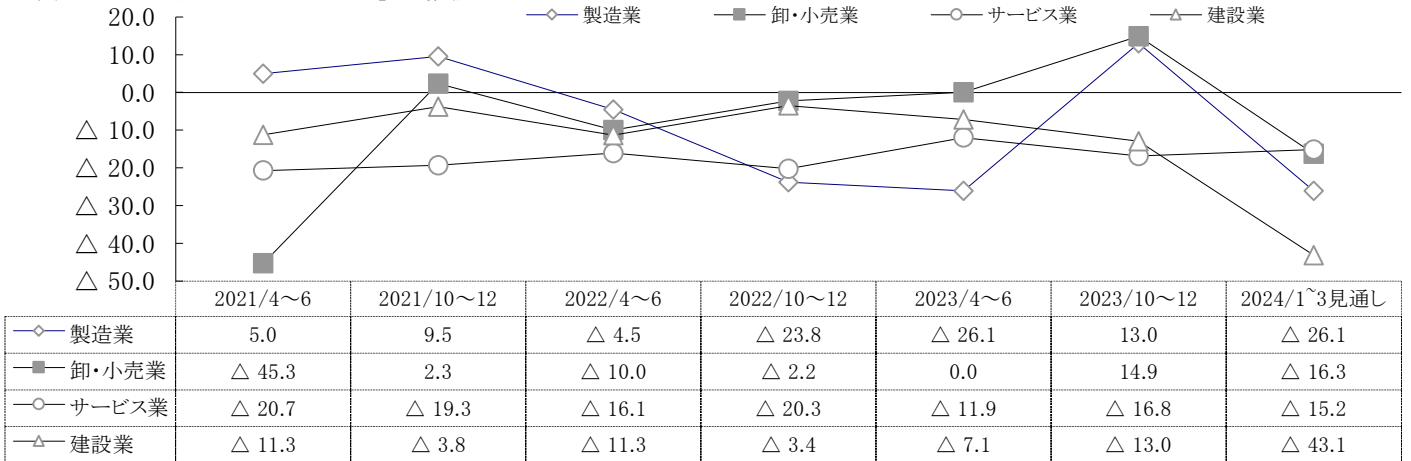
### □2023年10～12月期 業種別の仕入数量

DI値の動きを、今期と前回調査（2023年4月～6月）で比較すると、製造業、卸・小売業で増加しています。

### □2024年1～3月期の見通し

全産業の仕入数量DI値は、今期実績の1.3から△23.3へと24.6ポイント大幅に減少する見通しとなりました。

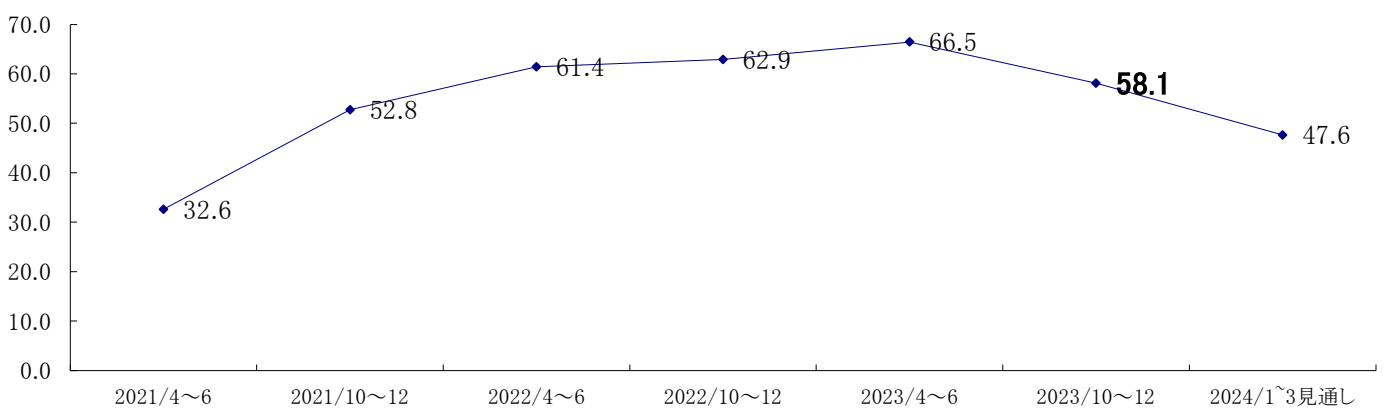
業種別 仕入数量DI「増加－減少」の推移



## 仕入単価の動向

仕入単価は現況・見通しともに減少するも、依然高い数値が続く

全産業 仕入単価DI「上昇－下落」の推移



### □2023年10～12月期 全業種の仕入単価

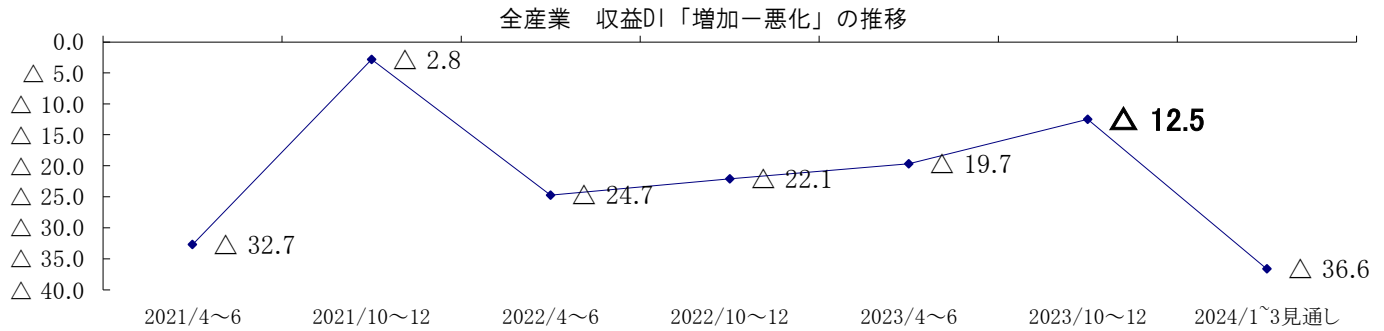
今期の仕入単価DI値（「上昇」と回答した企業－「下降」と回答した企業）は58.1で、前回調査（2023年4月～6月）の66.5に比べ8.4ポイント減少しています。

### □2024年1～3月期の見通し

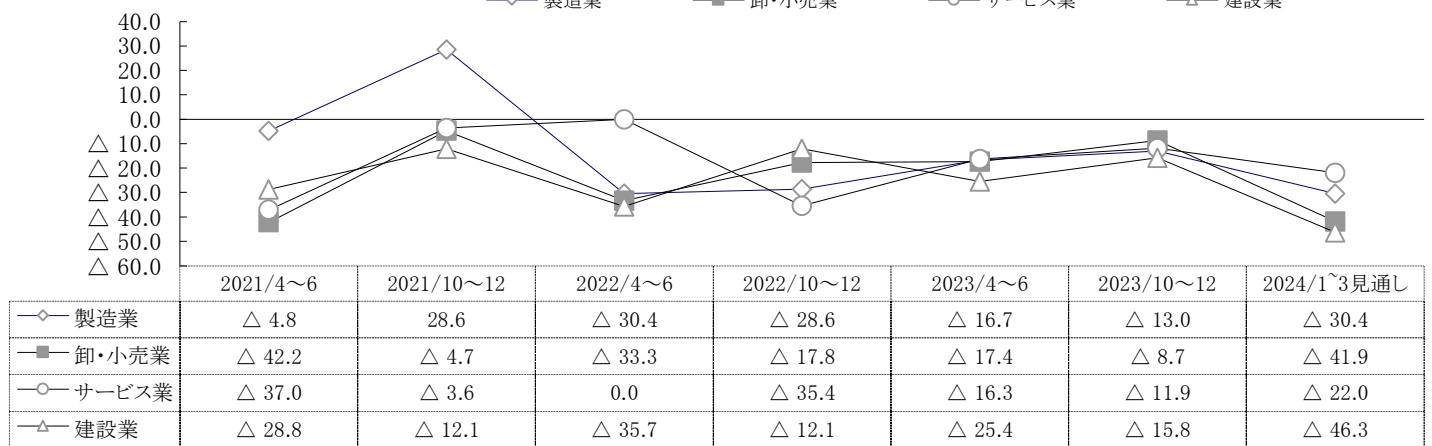
2024年1～3月期の見通しDI値は47.6ポイントで今期の58.1ポイントから10.5ポイント減少しています。

# 収益の動向

収益DI 前回より7.2ポイント改善も、見通しは一転して厳しく



## 業種別 収益DI「増加-減少」の推移



### □2023年10~12月期 全業種の収益

今期の収益DI値(「増加」と回答した企業-「減少」と回答した企業)は△12.5で、前回調査(2023年4月~6月)の△19.7に比べ7.2ポイント改善しました。

### □2023年10~12月期 業種別の収益

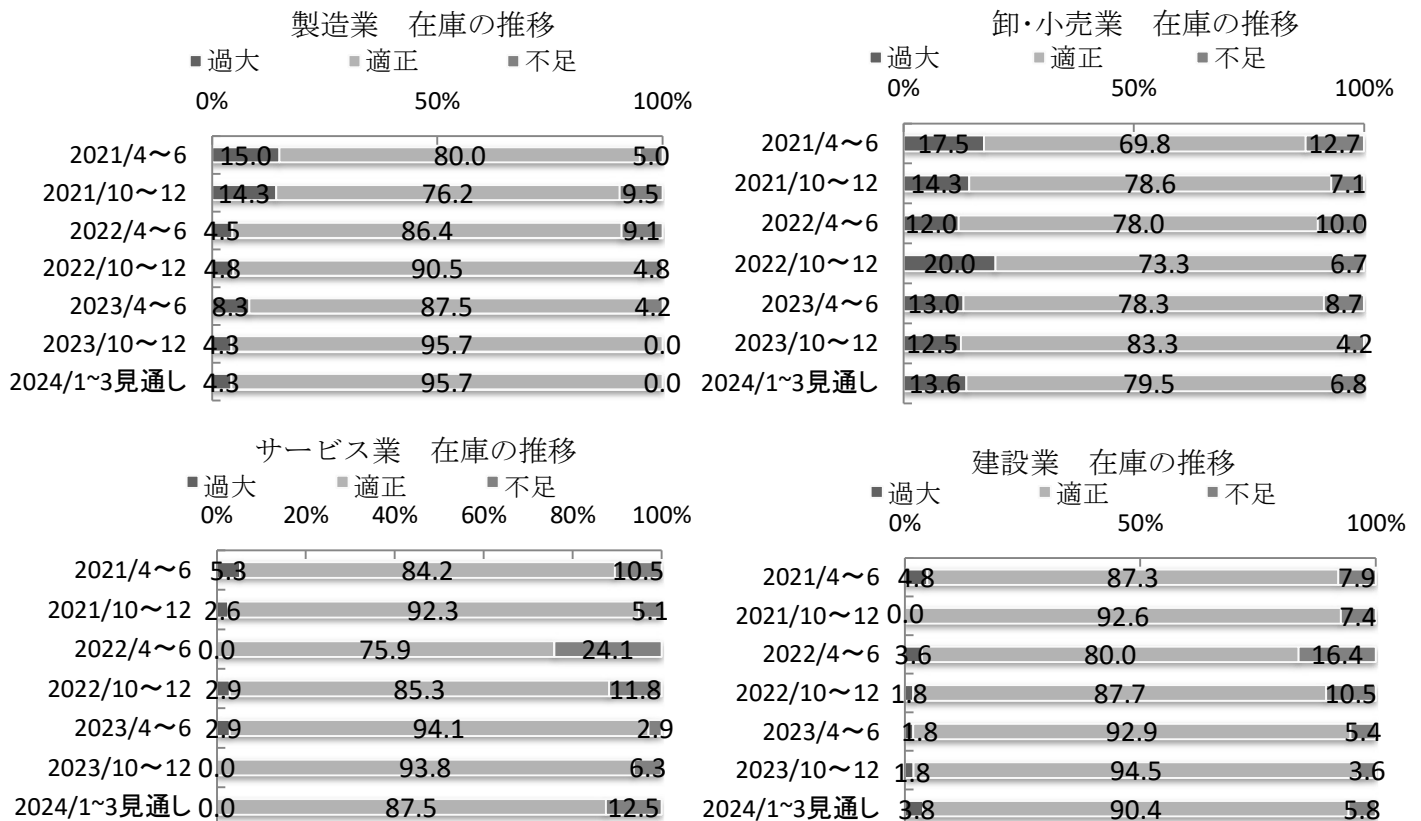
DI値の動きを、今期と前回調査(2023年4月~6月)で比較すると、全業種で改善しています。

### □2024年1~3月期の見通し

全産業の収益DI値は、今期実績の△12.5から△36.6へと24.1ポイント大幅に悪化する見通しとなりました。

# 在庫

全体的に「不足」の割合が減るも、見通しは製造業以外で「不足」傾向が強まる



## 資金繰りの動向

現況では「困難」の割合が減るも、見通しは「困難」の割合が上回る。

### □2023年10～12月期 全業種の資金繰り

今期「容易」と回答した企業割合は、前回調査(2023年4月～6月)に比べ、0.1ポイント増加して11.4%に。「困難」と回答した企業割合は、5.9ポイント減少して15.0%になり、「容易」-「困難」の企業割合(DI値)は△9.6から△3.6となりました。

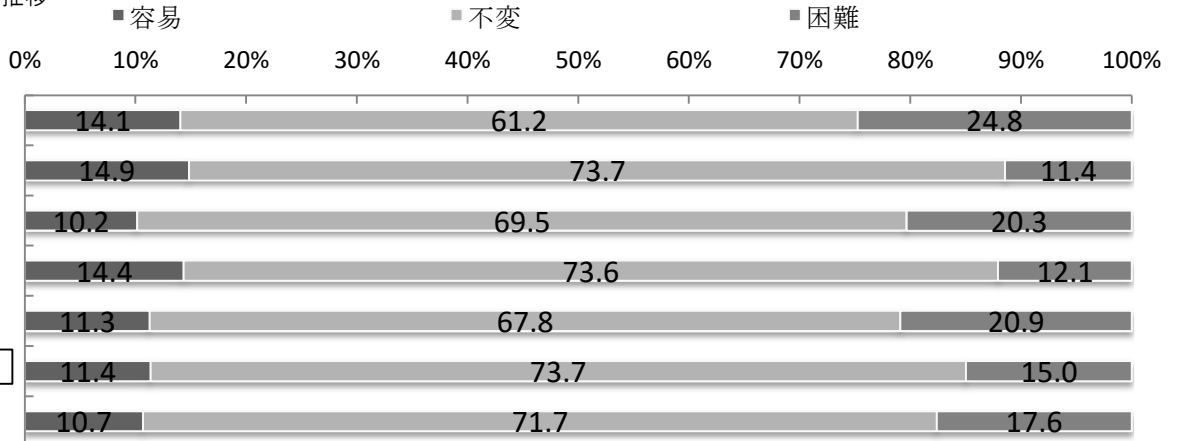
### □2023年10～12月期 業種別の資金繰り

DI値の動きを、今期と前回調査(2023年4月～6月)で比較すると、全業種で改善しています。

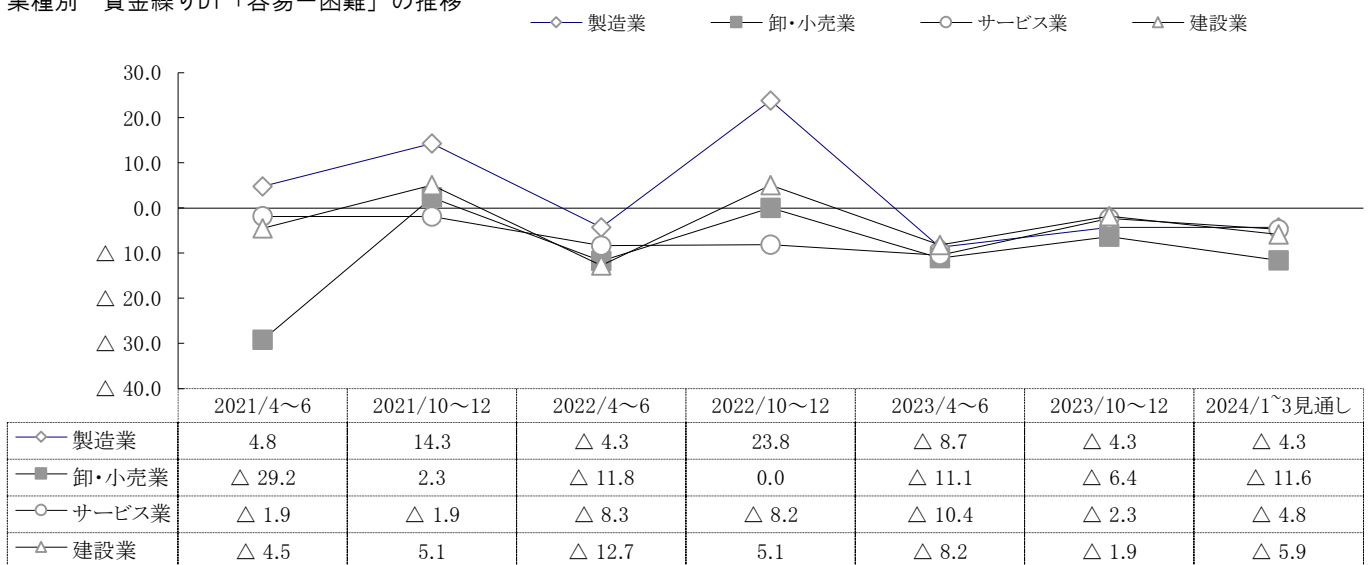
### □2024年1～3月期の見通し

DI値の動きは、今期△3.6から△6.9と悪化する見通しとなりました。

### 全産業 資金繰りの推移



### 業種別 資金繰りDI「容易-困難」の推移



## 借入難易度の動向

今期実績は「困難」の割合が減るも、見通しは借入難易度が高まる見込み

### □2023年10～12月期 全業種の借入難易度

今期「容易」と回答した企業割合は、前回調査(2023年4月～6月)に比べ、0.1ポイント減少して11.9%に。「困難」と回答した企業割合は、2.7ポイント減少して6.9%になりました。

### □2023年10～12月期 業種別の借入難易度

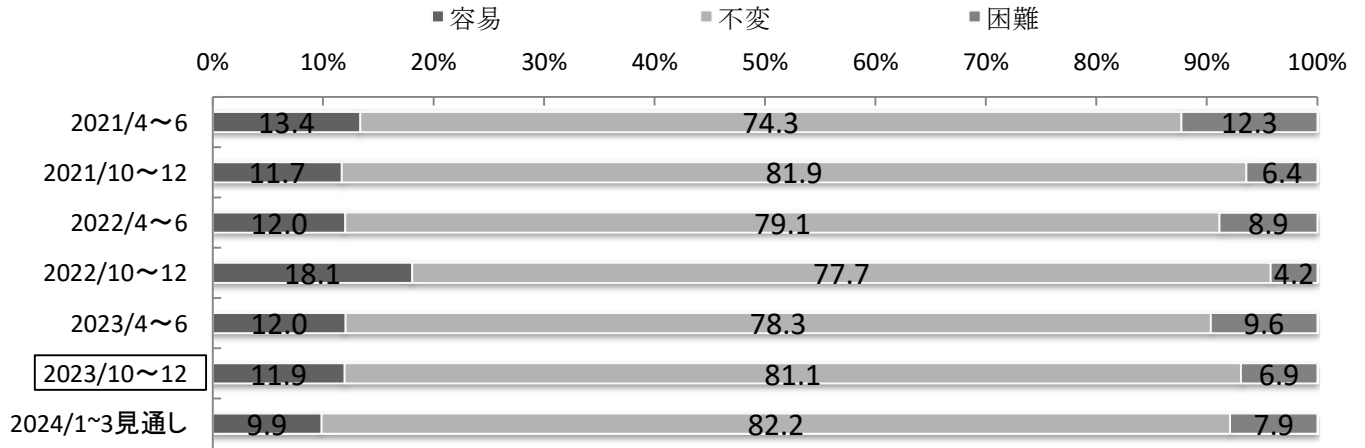
DI値の動きを、今期と前回調査(2023年4月～6月)で比較するとサービス業、建設業で改善しています。

### □2024年1～3月期の見通し

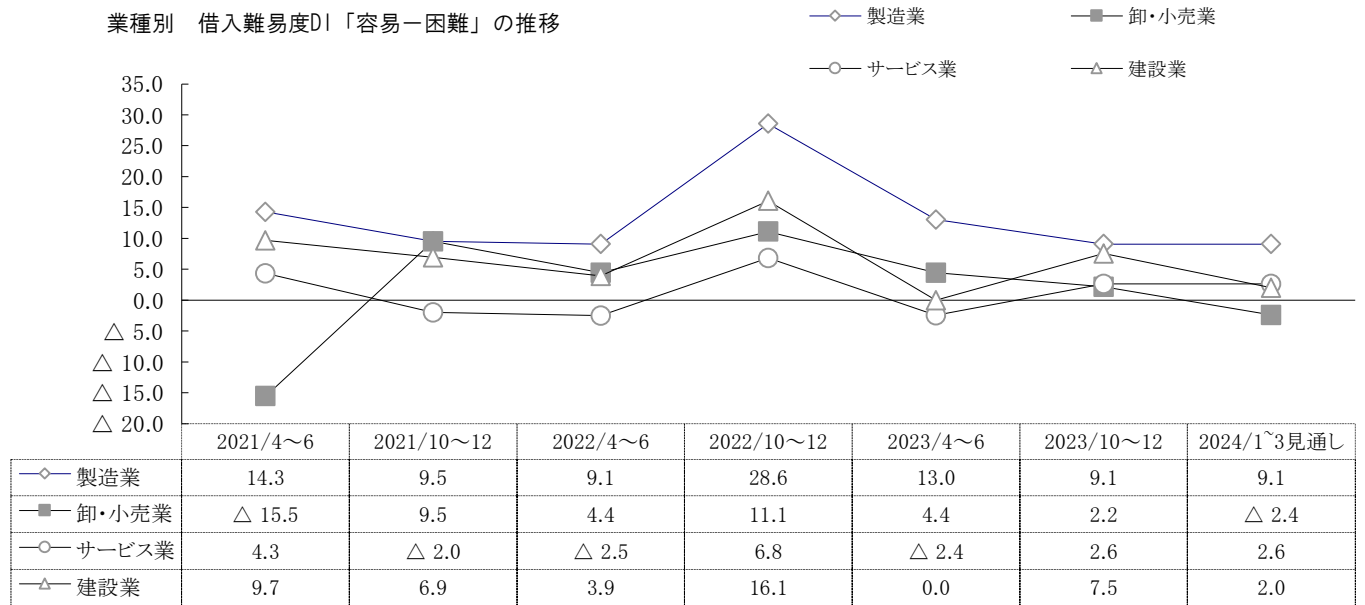
2024年1～3月の見通しは、「容易」が2.0%減少し、「困難」が1.0%増加しています。



全産業 借入難易度の推移



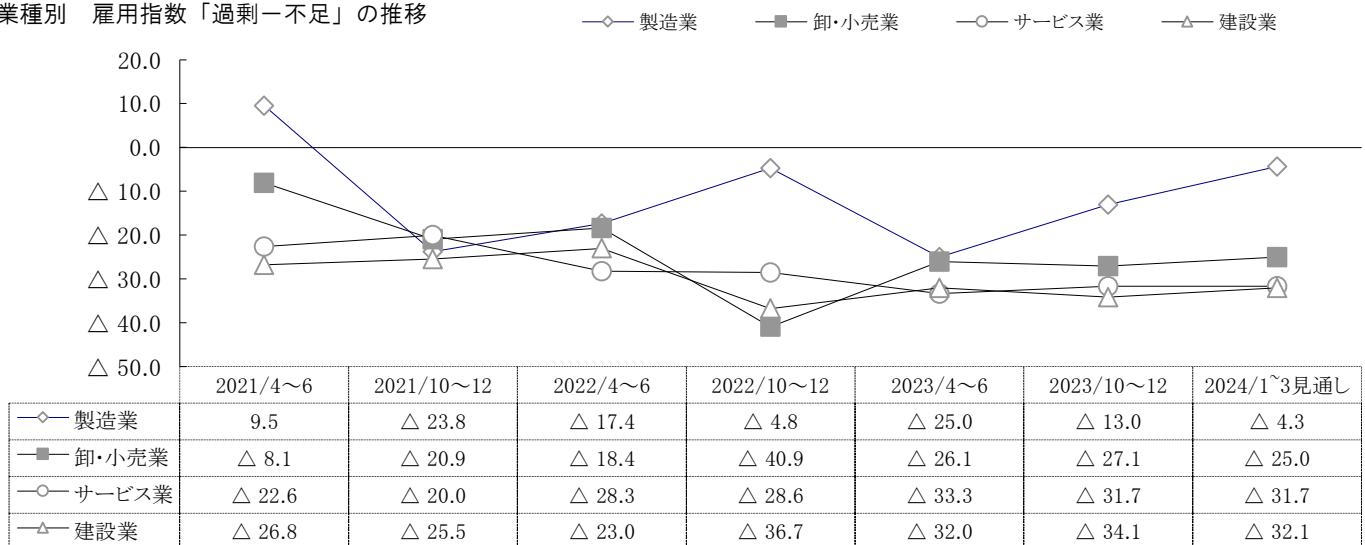
業種別 借入難易度DI「容易-困難」の推移



人手 一部の業種で回復傾向がみられるも、不足傾向が続く

□2023年10~12月期の人手について、全体的に不足傾向がみられる中で 卸・小売業、建設業で不足感が強まりました。  
 □2024年1~3月期の見通しは、人手不足感が若干回復する傾向と予想されます。

業種別 雇用指数「過剰-不足」の推移



※雇用指数=「過剰」-[不足]

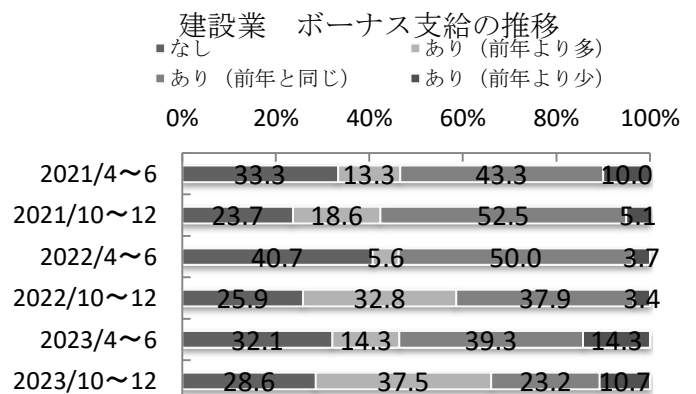
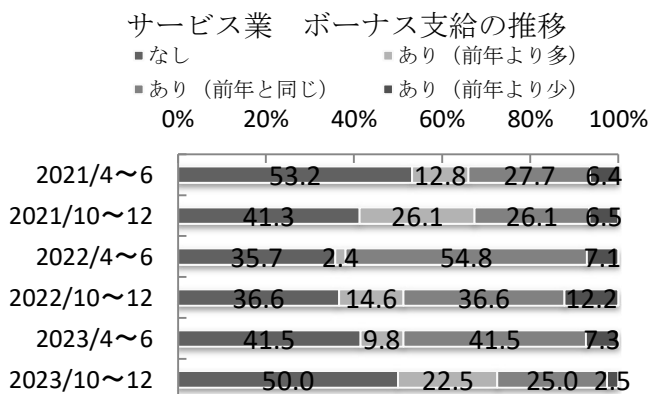
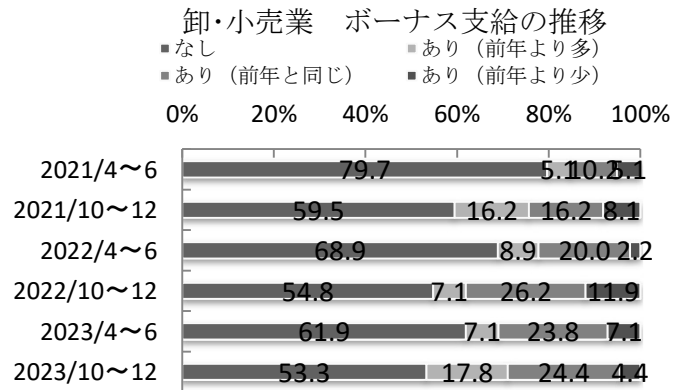
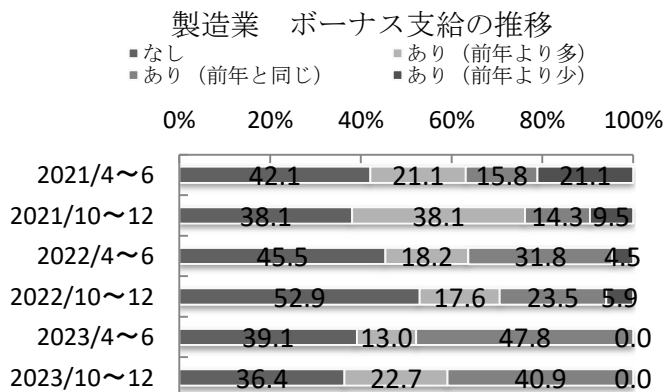
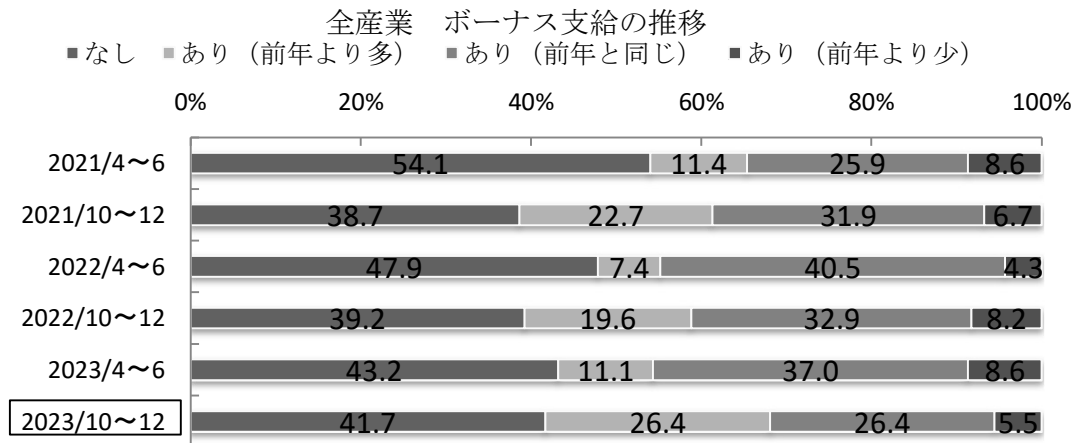
マイナス幅が大きいほど不足感が強い

## 冬季ボーナス

前年同期(前回冬)の調査に比べ、「支給なし」の割合が増加

□2023年冬のボーナス支給状況を全業種についてみると、「支給なし」の企業割合が41.7%、「支給あり」の企業割合が58.3%となっています。

□業種別に2022年冬のボーナスと比較すると、サービス業、建設業で「支給なし」の割合が増加しています。



経営上の問題点 (複数回答 実数)

「売上減少」「物価高騰」「人手不足・人事不足・獲得難」による問題が上位を占める

- 【製造業】(1位)売上減少 (2位)物価高騰 (3位)諸経費増大
- 【卸・小売業】(1位)売上減少 (2位)賃上げ・人件費増大 (3位)物価高騰、人材不足・人手不足・獲得難
- 【サービス業】(1位)諸経費増大 (2位)人材不足・人手不足・獲得難 (3位)売上減少
- 【建設業】(1位)物価高騰、売上減少 (2位)人材不足・人手不足・獲得難 (3位)仕入先からの値上げ要請

業種	規模別	売上減少	同業者の競争激化	大手大型店との競争激化	輸入製品との競争激化	売掛金回収難	販売受注先からの値下げ要請	仕入先からの値上げ要請	物価高騰(原材料・エネルギー)	賃上げ・人件費増大	諸経費増大	店舗工場機械等の陳腐化	下請け確保難	天候不順	大手企業の縮小撤退	取扱い・販売商品の陳腐化	取引先減少	人材不足・人手不足・獲得難	人材の能力・技術力不足	商店街の集客力低下	商圏人口減少	経済情勢	在庫増大	海外事情の悪化	消費税の負担増	デジタル技術の活用	時間外労働の規制強化	価格転嫁(販売価格の適正化)	設備増強、設備刷新	特になし	その他
		製造業	14	2	2	0	0	0	6	9	6	7	3	0	3	0	0	2	5	0	0	2	3	0	2	1	0	0	0	0	0
卸・小売業	28	6	3	0	0	0	9	11	12	8	1	1	6	0	2	10	11	5	5	8	1	0	1	5	3	0	0	1	0	0	
サービス業	14	8	1	0	3	0	3	13	8	19	1	0	2	0	1	0	16	5	1	8	0	0	0	9	1	1	0	1	1	2	
建設業	27	3	0	0	1	6	18	27	9	7	1	7	3	1	0	3	24	6	0	3	3	0	0	3	0	0	2	0	2	0	
規模別	5人以下	52	9	5	0	3	3	19	30	11	22	3	7	8	1	2	11	21	8	4	10	1	0	0	14	3	0	1	0	2	1
	6~10人	9	4	1	0	1	2	6	12	6	5	0	0	1	0	1	2	8	3	2	3	1	0	0	3	0	1	0	0	1	0
	11~20人	11	2	0	0	0	0	6	6	10	7	1	0	4	0	0	2	6	2	0	5	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0
	21人~50人	7	3	0	0	0	1	3	9	6	3	0	1	1	0	0	11	14	2	0	3	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0
	51人以上	4	1	0	0	0	0	2	3	2	4	2	0	0	0	0	0	7	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	1

経営改善対策 (複数回答 実数)

「経費節減」、「販路拡大」による対策の他、「販売価格の引き上げ」が上位を占める

- 【製造業】(1位)販路拡大 (2位)経費節減 (3位)販売価格の引き上げ
- 【卸・小売業】(1位)販路拡大 (2位)経費節減 (3位)販売価格の引き上げ
- 【サービス業】(1位)経費削減 (2位)販路拡大 (3位)採用活動の積極化
- 【建設業】(1位)経費節減 (2位)販路拡大 (3位)従業員の教育訓練強化・販売価格の引き上げ

業種	規模別	販路拡大	経費節減	パート化	情報収集力の強化	新製品技術の開発	不採算部門製品の整理縮小	従業員の教育訓練強化	事業転換、新規事業開始	流通経路の見直し	技術研究開発力の向上	販売価格の引き上げ	販売価格の引き下げ	品質サービスの向上	輸入品の取扱い増	宣伝広告の強化	店舗設備の改装	採用活動の積極化	非正規雇用者の増加	外注下請け発注取止め	在庫管理徹底	海外投資海外市場開拓	ICT化による合理化	長時間労働の抑制	法・制度対応	資金円滑化策	特になし	その他
		製造業	17	12	0	1	5	0	2	2	1	3	9	1	3	0	1	1	4	0	0	4	2	0	0	0	0	0
卸・小売業	24	22	0	4	8	2	8	7	1	4	12	0	11	0	3	4	6	1	0	8	0	2	0	0	0	3	2	0
サービス業	15	24	2	6	1	1	8	1	1	5	11	0	10	0	5	3	13	1	0	1	0	1	1	0	0	3	1	
建設業	19	21	1	9	2	1	17	4	0	10	17	1	9	0	2	1	14	0	4	4	0	2	3	1	1	4	0	
規模別	5人以下	38	44	3	8	8	3	17	9	1	10	29	2	14	0	6	5	12	1	3	11	0	2	3	0	4	7	1
	6~10人	13	13	0	5	1	1	2	0	1	3	8	0	9	0	1	0	6	1	0	1	1	0	0	0	0	2	0
	11~20人	12	8	0	5	2	0	5	2	1	4	5	0	5	0	0	4	5	0	1	3	1	0	1	0	0	0	0
	21人~50人	9	9	0	2	3	0	6	3	0	4	5	0	2	0	3	0	9	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	51人以上	3	5	0	0	2	0	5	0	0	1	2	0	3	0	1	0	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0